

# TOPICS

## ケベック党、州補欠選挙で惨敗 過半数支配は変わらず

一九七六年十一月のケベック州議会議員選挙で百十議席のうち六十九議席を制して圧勝したケベック党は、その後行なわれた六回の補欠選挙ですべて敗北を喫した。もつとも、議席数はケベック党六十八、自由党二十九、ユニオン・ナシオナル九、無所属三、欠員一と、ケベック党が相変わらず圧倒的な過半数を握っている。

一番新しい補欠選挙が行なわれたのは、去年の十一月十四日。七六年の総選挙からちょうど三年目の前日である。ケベック党がもっていた二つの議席と連邦社会信用党の党首に選ばれたため議員を辞めたフアビアン・ロイ氏の後がまをめぐって争われたが、三議席とも自由党が獲得した。

この結果について、ケベック党の党首であるレベック州首相は、「きわめて厳しい審判で、わが党およびわが政府には手痛い打撃だ。人々の声を受け入れるのはむずかしいが、その意味するところは否定できない。これははつきりと不満を表明したものであり、単なる警告や叱責を超えたものだ」と述べた。同州首相は、敗因をインフ

レや公務員による一連のストライキに求めている。

レベック首相は、選挙結果は来年春に予定されている「主権・連合」に関する州民投票の結果に反映しないだろうと述べているが、ケベック州のクロード・ライアン自由党党首は「人々はケベック党の選択や（今回の）白書を全面的に拒絶した。ケベック州民は、ケベック以外のカナダ、基本的自由および経済的環境に対して、もつとオープンな態度を欲しがっている」と反論している。

一方、クラーク首相は、補欠選挙の結果を「連邦勢力の勝利」と見ているものの、現状維持に対する賛成投票ではない、と判断している。

## 歴史家クレイトンが死去

カナダの著名な歴史家トナルド・クレイトン氏が、十二月十九日死亡した。七十七才。カナダの政治的・文化的発展におけるセント・ローレンス川交易路の重要性を説いた「The Commercial Empire of the St. Lawrence: 1760-1850」をはじめ「John A. MacDonald: The Young Politician」「The Road to Confederation: The Emergence of Canada, 1763-1867」など、数々の

古典的著作を残している。

評論活動も盛んで、特にカナダのアメリカ化に強く反対していたことは有名。また一九七七年には、「ケベックは英語系カナダに依存しているが、英語系カナダはケベックなしても十分やっつけていける」と書いて物議をかもした。

## カナダ、対ソ制裁を支持

クラーク首相は一月、ソ連のアフガニスタン軍事介入に対し、カナダ政府は対ソ信用供与の制限、高度科学技術の輸出停止、穀物の追加輸出の禁止、オリンピック開催地の再検討——など一連の報復措置を実施することを決定したと発表した。

## ケベックの言語法は違憲

### 連邦最高裁が判決

カナダ最高裁判所は、十二月中旬、ケベック州の言語法案のうち、州裁判所および州議会における英語の使用を制限した条項を憲法違反たとする判決を下した。マニトバ州でのフランス語に対する制限も、同じように拒絶された。

マニトバでは一九九〇年以来すべての法令を英語のみで採択し、ケベックでは一九七七年以来フランス語のみで法令を布告していた。今回の判決は、すべての法令は英仏両語で採択しなければならぬとする憲法の条項にしたがったもの。ケベック州の言語法は、すて

に同州の上級裁判所も、州政府に裁判所および議会から英語を閉めだす権限はない——との判決を下していた。

## 米国に大量の天然ガス輸出 カナダ政府が決定

カナダ政府は、十二月初め、国内の天然ガス企業十社に対し、一九八七年末までに三兆七千五百立方フィートの天然ガスを米国向けに輸出する認可を与えた。こんな大規模な天然ガス輸出が認められたのは、一九七〇年以来初めて。

認可量が最も多かったのはハン・アルバータ・ガス社。同社だけで一兆八千億立方フィート、すなわち全体の四八パーセントを占めている。

価格は四半期ごとに調整される。石油価格と連動する取りきめになっているため、現行の千立方フィート当り三・四五米ドル（契約量で百三十二億米ドル）は石油価格の高騰と共に上げられることになる。

政府の決定については、国内——特に輸入原油に依存している東部——における石油の需給事情が逼迫しつつあるとして、自由党と新民主党がただちに反対した。しかしナティンソン資源・エネルギー大臣は、①新たな石油探査のための資金の必要性②対米友好関係の重要性——をあげて、野党の批判は不当だと述べた。エネルギー庁（NEB）によると、カナダにお

る通常天然ガスの埋蔵量は最新の予想で七十一兆八千立方フィート。昨年二月の推定より五兆七千立方フィートも多い。埋蔵量の八七・八一パーセントはアルバータ、残りのほとんどはブリティッシュ・コロンビアにある。今後十年間に、新たに四十六兆立方フィートの天然ガスが西部カナダで発見されるものと、NEBでは見ている。さらに、北方のマッケンジー・デルタ一帯では、百六十兆立方フィートの天然ガスが将来発見されるものと期待されている。

## 少年犯罪は脳の機能障害に原因 研究者グループが常識に挑戦

少年犯罪は社会的、経済的環境が原因——というのが常識だが、少年犯罪者の大半は脳傷害を煩っていることが、アルバータ州の神経精神学者の研究で判明した。

研究に加わったアルバータ病院神経精神科のエドワード博士によると、普通の中高生と少年院に保護されている十三才から十七才の少年少女を対象に、知覚、運動、感覚などの機能や、記憶、抽象的思考などを測定する一連の神経精神学的テストを行なったところ、少年院に収容されている者の八六・一パーセントが異常を示した。それに対して、中高生の場合は、一四・八一パーセントであつた。

また神経精神テスト、脳波測定（EEG）、スペクトル脳波測定（被験者が問題に取り組んでいる